

ZENworks 2020 Readme

2019 年 10 月

この Readme ファイルでは、ZENworks 2020 リリースに関する情報を提供します。

- ◆ 1 ページの「[Readme の更新](#)」
- ◆ 1 ページの「[重要](#)」
- ◆ 2 ページの「[インストール](#)」
- ◆ 2 ページの「[アップグレード](#)」
- ◆ 3 ページの「[新機能](#)」
- ◆ 3 ページの「[既知の問題](#)」
- ◆ 9 ページの「[その他のマニュアル](#)」
- ◆ 9 ページの「[保証と著作権](#)」

Readme の更新

次の表に、ZENworks 2020 の初期リリース後にこの Readme で行われたドキュメントコンテンツの変更に関する情報を示します。

表1 Readme の更新

日付	追加または更新された Readme 項目
2019 年 10 月 28 日	次のセクションが Readme に含まれました： 1 ページの「重要」

重要

(条件付き) ZENworks 2017 Update 4 FRU1 (17.4.1) からアップグレードしており、2019 年 10 月 28 日より前に ZENworks 2020 ビルドをダウンロードしている場合は、アップグレードを続行する前に、次の情報を必ずお読みください。

- ◆ ZENworks 2020 をダウンロードしているが、まだゾーンで展開していない場合は、次の [TID 7024215](#) を読んでから展開するようにしてください。
- ◆ すでに ZENworks 2020 を展開しているか、展開中である場合は、Micro Focus Customer Center に連絡する必要があります。

注：ZENworks 2017 Update 4 FRU 1 からアップグレードしない場合、または 2019 年 10 月 28 日以降に ZENworks 2020 ビルドをダウンロードしている場合は、この情報は適用されず、アップグレードを続行できます。

インストール

インストール手順については、『ZENworks サーバインストールガイド』を参照してください。システム要件の詳細については、『ZENworks 2020 のシステム要件』を参照してください。

アップグレード

ZENworks 2020 へのアップグレードの計画

管理ゾーン内での ZENworks 2020 へのアップグレードを計画するには、次のガイドラインを使用します。

- ゾーンで Sybase データベースを使用している場合、ZENworks 2020 へのアップグレードには 2 ステップのプロセスがあります。まず、データベースを移行してから、アップグレードを実行する必要があります。マイグレーションは ZENworks ISO を使用するか、新しいデータベースマイグレーションユーティリティを使用して実行できます。
- アップグレードの一環として、まずプライマリサーバをアップグレードし、次にサテライトサーバ、最後に管理対象デバイスという順番で ZENworks 2020 に更新する必要があります。ゾーン内のすべてのプライマリサーバが ZENworks 2020 にアップグレードされるまで、管理対象デバイスおよびサテライトサーバをアップグレードしないでください(または、新しい 2020 エージェントをゾーンに追加しないでください)。

注：プライマリサーバがすべてアップグレードされるまで、エージェントは整合性のないデータを受け取る可能性があります。したがって、このプロセスのこの部分はできる限り短時間で実行することをお勧めします。理想的には、最初のプライマリサーバのアップグレード直後に実行します。

- 管理対象デバイスまたはサテライトサーバが ZENworks 11.3.x 以上のバージョンに更新されている場合は、ゾーン内の管理対象デバイスを直接 ZENworks 2020 に更新できます。

ZENworks 2020 へのアップグレードが完了すると、システムは 1 回再起動します。ただし、次の場面では再起動が 2 回必要になります。

表2 再起動が2回必要な場面

場面	ZENworks Endpoint Security	Full Disk Encryption	ロケーションサービス	クライアントセルフディフェンス
2017.x から 2020 へのアップグレード、および ZENworks 2020 の新規インストール	無効	無効	ライト	有効
ZENworks 2020 の新規インストール	無効	無効	フル	有効

重要 : ZENworks 11.4.x 以前が動作しているすべてのプライマリサーバは、ZENworks 2020 にアップグレードする前に、まず ZENworks 2017 にアップグレードする必要があります。サテライトサーバと管理対象デバイスは、ZENworks 2020 にアップデートする前に、ZENworks 11.3.x にアップデートする必要があります。

表3 2020 への ZENworks 累積エージェントアップデート: サポートされるパス

デバイスタイプ	オペレーティングシステム	サポートされるバージョン	サポートされないバージョン
プライマリサーバ	Windows/Linux	v2017 以上のバージョン	2017 より前の任意のバージョン
サテライトサーバ	Windows/Linux/Mac	v11.3.x 以上のバージョン	2017 より前の任意のバージョン
管理対象デバイス	Windows	v11.3.x 以上のバージョン	11.3.x より前の任意のバージョン
	Linux	v11.3.x 以上のバージョン	NA
	Mac	v11.3.x 以上のバージョン	NA

プライマリサーバ、サテライト、および管理対象デバイスの ZENworks へのアップグレードのための前提条件および手順に関する詳細については、『ZENworks アップグレードガイド』を参照してください。

新機能

ZENworks 2020 の新機能詳細については、『ZENworks [What's New Reference](#)』を参照してください。

既知の問題

このセクションでは、ZENworks 2020 の使用時に発生する可能性がある問題について説明します。

- ◆ 4 ページの「インストールとアップグレード」
- ◆ 4 ページの「アプライアンス」

- ◆ 4 ページの「バンドル」
- ◆ 6 ページの「セキュリティ」
- ◆ 8 ページの「Vertica」
- ◆ 9 ページの「リモート管理」
- ◆ 9 ページの「ZENworks エージェント」

インストールとアップグレード

- ◆ 4 ページの「ZENworks インストーラでコンテンツが適切に表示されない場合がある」
- ◆ 4 ページの「ZENworks 2017 (評価版) のアップグレード中に Suite ライセンスオプションが選択される場合にエージェントスポークが無効になる」

ZENworks インストーラでコンテンツが適切に表示されない場合がある

SLES デバイス上で、ZENworks インストーラ画面のテキストが適切に表示されない場合があります。

解決策 : 次の場所からデバイス上に fetchmsttfonts パッケージをダウンロードしてインストールします。<https://software.opensuse.org/package/fetchmsttfonts>

ZENworks 2017 (評価版) のアップグレード中に Suite ライセンスオプションが選択される場合にエージェントスポークが無効になる

ZENworks 2017 サーバ (評価版) を ZENworks 2020 にアップグレード中に、Suite ライセンスオプションを有効にすると、エージェントスポークが無効になり、デバイスが再起動する可能性があります。

解決策 : ZCC 内で、[環境設定] > [デバイス管理] > [ZENworks エージェント] の順に移動して、必要なエージェント機能を有効にします。再起動オプションを変更することもできます。

アプライアンス

- ◆ 4 ページの「接続されているディスクを変更した後で、アプライアンスが再起動に失敗する」

接続されているディスクを変更した後で、アプライアンスが再起動に失敗する

新たに展開されたアプライアンスは、ブートしてから vastorage ディスクが変更された場合、正常にブートしないことがあります。

解決策 : OVA ファイルから新しいアプライアンスを展開してから、vastorage ディスクを接続します。

バンドル

- ◆ 5 ページの「エージェントが ZENworks 2020 に更新されない場合、バンドルダッシュレットに表示されるデータが正しくないか、データがない場合がある」
- ◆ 5 ページの「バンドルが無効化された場合、データは割り当てステータスダッシュレットに表示されない」

- ◆ 6 ページの「バンドルのインストールクイックタスクがバンドル展開ステータスダッシュレットから iOS または企業バンドルに実行される場合、バンドルデータが表示されない」
- ◆ 6 ページの「Vertica データベースが設定されている場合に、バンドルダッシュレットのデータが最新でない場合がある」
- ◆ 6 ページの「新たに割り当てられたバンドルのデバイス割り当てステータスまたはユーザ割り当てステータスダッシュレットの展開時に、特定のフィルタの値が入力されない」

エージェントが ZENworks 2020 に更新されない場合、バンドルダッシュレットに表示されるデータが正しくないか、データがない場合がある

次のシナリオでは、バンドルダッシュレットに表示される特定の値が正しくないか、値がありません。

- ◆ ZENworks 2020 バージョンより古いエージェントに親バンドルが割り当てられているバンドルの展開ステータスダッシュレット（配布、インストール、または起動）では、[親バンドルのインストール] と [親バンドルの起動] 列に値が表示されません。
- ◆ ZENworks 2020 バージョンより古いエージェントにバンドルを割り当てて、ZENworks Server を 2020 バージョンにアップグレードする場合、バンドルが正常にインストールされている場合でも、[デバイス割り当てステータス] ダッシュレットのバンドルの割り当てステータスが保留中と表示されます。

解決策 : ZENworks エージェントを ZENworks 2020 に更新します。

注 : すべてのバンドルダッシュレットで有効なデータを表示するには、ゾーンのエージェントを ZENworks 2020 に更新することをお勧めします。

バンドルが無効化された場合、データは割り当てステータスダッシュレットに表示されない

ユーザまたはデバイスに割り当てられたバンドルが無効な場合、割り当てが存在する場合でも、[割り当てステータス] ダッシュレットにデータは表示されません。

解決策 : ありません。

バンドルのインストールクイックタスクがバンドル展開ステータスダッシュレットから iOS または企業バンドルに実行される場合、バンドルデータが表示されない

[バンドルのインストール] クイックタスクがバンドル展開ステータス (配布またはインストール) ダッシュレットのいずれかから iOS アプリ、iOS プロファイル、または企業バンドルに実行される場合、クイックタスクが実行されるデバイスのデータがダッシュレットに表示されません。

解決策：

- iOS アプリバンドルの場合、デバイスの更新により、更新されたデバイスデータが表示されません。デバイスを更新するには、バンドルの [割り当てステータス] ダッシュレットから [デバイスの更新] クイックタスクを実行するか、スケジュールされたデバイスの更新を待機することができます。
- iOS プロファイルまたは企業バンドルの場合、バンドルの新しいバージョンを発行して、バンドルのバージョンを増やします。

Vertica データベースが設定されている場合に、バンドルダッシュレットのデータが最新でない場合がある

ゾーンで Vertica データベースを設定している場合は、バンドルダッシュレットで表示されるデータは最新のデータではない場合があります。

解決策：バンドルダッシュレットを更新するアイコンをクリックします。既存の RDBMS を最新のデータで Vertica と同期するため、10 分待機します。ダッシュレットを再度更新します。

新たに割り当てられたバンドルのデバイス割り当てステータスまたはユーザ割り当てステータスダッシュレットの展開時に、特定のフィルタの値が入力されない

バンドルをデバイスまたはユーザに割り当てた後で、直ちに [デバイス割り当てステータス] または [ユーザ割り当てステータス] ダッシュレットに移動する場合、次のフィルタに値が表示されません。

- [デバイス割り当てステータス] ダッシュレットの [デバイス割り当て]、[バンドル割り当て]、[エージェントバージョン]、および [オペレーティングシステム] フィルタ。
- [ユーザ割り当てステータス] ダッシュレットの [デバイス割り当て]、[バンドル割り当て]、および [エージェントバージョン] フィルタ。

解決策：ダッシュレットを折りたたんで、再度展開します。ベストプラクティスとして、新たに割り当てられたバンドルの割り当てステータスダッシュレットの展開前に、バンドルの折りたたまれたビューのダッシュレットの更新アイコンをクリックすることをお勧めします。

セキュリティ

- 7 ページの「サブスクリプションサービスコンテンツのダウンロードページのベンダリストを変更した後で、インストールされていない CVE パッチ数が正しくない場合がある」
- 7 ページの「Internet Explorer 11 では、ページごとの項目数が多すぎる場合、スクロールが CVE 分布ダッシュレットで反応しない場合がある」
- 7 ページの「デバイスのパッチページおよび利用可能なデバイスページの一部の情報が ZENworks 2017.x エージェントで表示されない」

- ◆ 7 ページの「Microsoft データ暗号化ポリシーの使用時にマルチユーザの暗号化フォルダが一部のユーザからアクセスできない場合がある」
- ◆ 8 ページの「Micro Focus Filr を使用したフォルダに対してこのリリースでは、固定ディスクフォルダ暗号化がサポートされていない」

サブスクリプションサービスコンテンツのダウンロードページのベンダリストを変更した後で、インストールされていない CVE パッチ数が正しくない場合がある

[サブスクリプションサービスコンテンツのダウンロード] ページで選択したベンダ数を変更し、CVE およびパッチサブスクリプションを実行してから、[CVE 重大度分布] または [上位 CVE] ダッシュレットの脆弱数をクリックすると、[CVE パッチがインストールされていません] の数が [パッチ] ページに一覧表示されているパッチ数に一致しない場合があります。

解決策：ありません

Internet Explorer 11 では、ページごとの項目数が多すぎる場合、スクロールが CVE 分布ダッシュレットで反応しない場合がある

Internet Explorer 11 で CVE 分布ダッシュレットを使用している場合、ページごとの項目数が 1000 の場合、ページスクロールが反応しない場合があります。

解決策：次のいずれかの操作を実行します。

- ◆ 他の ZENworks がサポートするブラウザを使用します。
- ◆ ページごとの項目数を 25 に制限します。

デバイスのパッチページおよび利用可能なデバイスページの一部の情報が ZENworks 2017.x エージェントで表示されない

ZENworks 2017.x デバイス上でパッチを適用した後で、デバイスのパッチページに [インストール日]、および [インストール実行者] 情報が表示されず、[利用可能なデバイス] ページに [修復日] 情報が表示されません。

解決策：ありません。この情報は ZENworks 2017.x エージェントには表示されません。

Microsoft データ暗号化ポリシーの使用時にマルチユーザの暗号化フォルダが一部のユーザからアクセスできない場合がある

固定ディスクフォルダ暗号化を有効にし、Microsoft データ暗号化ポリシーをデバイスに適用する場合のマルチユーザフォルダ暗号化は現在サポートされていません。共有フォルダがこのポリシー機能を使用してデバイス上で暗号化される場合、ポリシーが最初に適用されたときにデバイスにログインしていたユーザのみファイルへのアクセス権があります。

解決策：フォルダをコピーおよび復号化するため、次の項目が管理者またはユーザによって使用できます。

- ◆ このリリースで提供される ZENworks フォルダ復号化ツール
- ◆ ポリシーによって作成されるフォルダ暗号化証明書
- ◆ ポリシーで作成された管理者復号化パスワード

詳細については、『ZENworks Endpoint Security Policies Reference』の「[Troubleshooting Endpoint Security](#)」を参照してください。

Micro Focus Filr を使用したフォルダに対してこのリリースでは、固定ディスクフォルダ暗号化がサポートされていない

ZENworks Microsoft データ暗号化ポリシーには、Microsoft 暗号化ファイルシステム (EFS) を管理して、固定ディスクフォルダを暗号化するオプションがあります。EFS では、暗号化中に使用していないファイルが必要です。Filr によるファイルの管理および制御方法のため、Micro Focus Filr フォルダの暗号化が回避されます。今後のリリースで、この問題の解決策を探ります。

Vertica

- 8 ページの「[Kafka は、既存の RDBMS が別のベンダの RDBMS と置き換えられる場合に、Vertica とのデータの同期を停止します。](#)」
- 8 ページの「[Kafka-connect では、RDBMS が 1 時間以上ダウンする場合は、RDBMS に自動的に再接続できません。](#)」

Kafka は、既存の RDBMS が別のベンダの RDBMS と置き換えられる場合に、Vertica とのデータの同期を停止します。

既存の RDBMS を別のベンダの RDBMS と置き換える場合 (PostgreSQL を Oracle データベースと置き換えるなど)、Kafka コネクタは作業を停止し、データを Vertica データベースと同期できなくなる可能性があります。

解決策 : 新しい RDBMS と Vertica 間でデータを同期するには、新しいコネクタを作成する必要がありますが、Vertica データベースのすべての既存のトレンドングデータが失われます。新しいコネクタを作成するには、force オプションを使用して一括データマイグレーション設定アクションを実行します。すなわち、コマンドラインユーティリティからコマンド `novell-zenworks-config -c VerticaDBMigrate -Doption=force` を実行します。

重要 : このアクションは、Vertica のすべてのデータを新しい RDBMS のデータと置き換えるため、これによってすべての既存のトレンドングデータが失われます。

Kafka-connect では、RDBMS が 1 時間以上ダウンする場合は、RDBMS に自動的に再接続できません。

RDBMS が 2 時間ダウンし、kafka-connect サービスが RDBMS と fka の間でストリーミングデータを担当し、RDBMS に接続できません。

解決策 : `systemctl restart zenworks-connect.service` コマンドを実行して、kafka-connect サービスを再起動します。

リモート管理

- ◆ 9 ページの「新しいビューアを使用して、ZENworks 2017 Update 3 エージェントをリモート制御する場合に、空の画面が表示される」

新しいビューアを使用して、ZENworks 2017 Update 3 エージェントをリモート制御する場合に、空の画面が表示される

新しいリモート管理ビューア (実験段階のサポート) を使用して、ZENworks 2017 Update 3 エージェントをリモート制御する場合に、空の画面が表示されます。

解決策 : [新しいリモート管理ビューアの使用] チェックボックスをオフにして、まだ 17.4 以降にアップグレードされていないエージェントをリモート制御します。

ZENworks エージェント

- ◆ 9 ページの「SLES 12 SPX および SLES 15 SPX デバイス上の ZENworks アイコンの表示の問題」

SLES 12 SPX および SLES 15 SPX デバイス上の ZENworks アイコンの表示の問題

SLES 12 SPX および SLES 15 SPX 管理対象デバイスまたはプライマリサーバのデスクトップメニューバーに ZENworks アイコンが表示されません。ただし、ZENworks アイコンが手動で実行される場合は、「Another instance of ZENworks icon is running (ZENworks アイコンの別のインスタンスが実行されています)」が表示されます。

解決策 : ありません。

その他のマニュアル

この README は、ZENworks 2020 に固有の問題を一覧表示しています。他のすべての ZENworks 2020 のマニュアルについては、[ZENworks 2020 マニュアルの Web サイト](#)を参照してください。

保証と著作権

保証と著作権、商標、免責事項、保証、輸出およびその他の使用制限、米国政府の規制による権利、特許ポリシー、および FIPS コンプライアンスの詳細については、<https://www.novell.com/company/legal/> を参照してください。

© Copyright 2008 - 2019 Micro Focus or one of its affiliates.

Micro Focus、関連会社、およびライセンサ (「Micro Focus」) の製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属する保証書に明示的に規定されたものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。Micro Focus は、本書に技術的または編集上の誤りまたは不備があっても責任を負わないものとします。本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。